

記者発表（発表・資料配布）				
月／日 (曜日)	担当課(室) 班名	電話番号 (直通)	発表者名 (担当主幹名)	その他の発表先 配布
12／13 (金)	高校教育課 教育指導班	内線 5736 (078-362-9444)	西田 利也 (桑田 耕治)	

## 「数学・理科甲子園 2019」の開催

台風 19 号の接近により延期となった「数学・理科甲子園 2019」を下記の日程で開催する。本大会は、来年 3 月に埼玉県さいたま市で開催される「第 9 回科学の甲子園全国大会」の兵庫県代表を選考する予選を兼ねる。

### 記

- 1 日時 令和元年 12 月 21 日（土）9：50～17：00
- 2 場所 甲南大学 講堂兼体育館  
〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1
- 3 出場チーム  
県内高等学校、中等教育学校後期課程、高等専門学校を対象とし、1 校 1 チームが出場可能。チームは同じ学校の 1、2 年生の生徒 6～8 人で構成。  
※ 64 チーム 471 名が参加
- 4 対戦方法
  - (1) 予選（筆記競技）
    - ① 内容  
数学分野・理科分野の筆記試験  
個人戦 8 問（数学分野 2 問、理科分野 6 問）個人で問題を解く。  
団体戦 8 問（数学分野 2 問、理科分野 6 問）すべて 5 択問題。
    - ② 方法  
個人戦、団体戦でのチームの総得点で競い、上位 16 チームが本選に進む。
  - (2) 本選（実技競技）
    - ① 内容  
16 チームが、数学分野と理科分野の両方の課題に取り組む。  
数学分野：数学に関する論理的な思考力、表現力を問う問題。  
理科分野：理科に関する総合的な知識を用いて、課題工作や実験考察等に取り組む問題。
    - ② 方法  
本選及び予選の得点で競い、上位 5 チームが決勝に進む。
  - (3) 決勝（実技競技）
    - ① 内容  
本選を勝ち抜いた 5 チーム（1 チーム 6 人）が、身近な現象の原理を使って、与えられた課題を解決し、自分たちの考え方についてプレゼンテーションを行う。
- 5 昨年の結果  
平成30年度（数学・理科甲子園2018） 参加校 69チーム 504名  
優勝：県立宝塚北高等学校、2位：甲陽学院高等学校  
3位：県立神戸高等学校、県立姫路西高等学校、県立大学附属高等学校